

## 実行委員長 あいさつ



この度「共同求人・社員教育活動全国交流会」を、両活動発祥の地「北海道」で設営させていただき運びとなりました。北海道は、広大な土地と多様な産業を背景に、多くの中小企業が地域を支えています。しかし近年、若者の流出が大きな課題となり、地域経済や企業の未来を見据えた人材確保と育成が一層重要なテーマとなっています。これらの課題は北海道だけでなく全国共通であり、本交流会では、地域や規模を超えた知恵を集結し、共に語り合い、新たな視点を得ることで、若者が「この地域で働きたい」と思える未来をつくる一助となることを願っております。また北海道でのこの貴重な機会を活かし、全国の皆様と共に、北海道同友会における「人を生かす経営」の更なる実現に向けて新たな一歩を踏み出したいと思います。皆様の来道・ご参加を心からお待ちしております！

実行委員長 敬禮 匡  
(株式会社レイジックス 代表取締役)

## 全国交流会開催概要

日程／2025年6月17・18日

会場／**メイン会場**  
北海道立道民活動センター（かでの2・7）  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目  
道民活動センタービル  
TEL：011-204-5100（ダイヤルイン）

**懇親会場**  
ホテル ポールスター札幌  
〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目  
TEL：011-330-2532

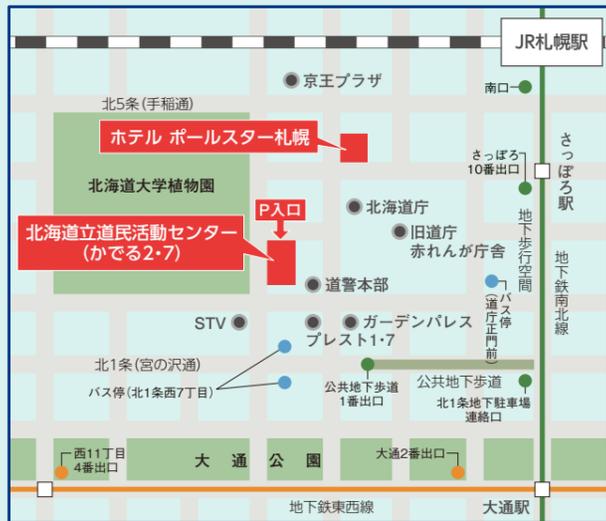
会費／20,000円  
参加申込／ご所属の同友会事務局へお申し込みください。  
申込締切／2025年5月29日（木）  
※5月30日（金）以降のキャンセルは会費を全額負担して頂きます。ご了承ください。

## タイムスケジュール

◆ 2025年6月17日(火)		◆ 2025年6月18日(水)	
12:00	受付開始	9:00	開場
13:00	開会 分科会開始	9:30	全体会開始
17:50	分科会終了 懇親会会場に移動	9:45	分科会報告
18:30	懇親会開始	10:15	記念講演
20:30	懇親会終了	12:15	閉会

## 地図&アクセス情報

- ◆ JR札幌駅南口：徒歩13分
  - ◆ 札幌市営地下鉄
    - ・さっぽろ駅(10番出口)：徒歩9分
    - ・大通駅(2番出口)：徒歩11分
    - ・西11丁目駅(4番出口)：徒歩11分
  - ◆ 新千歳空港とのアクセス
    - JR 快速エアポート  
新千歳空港⇄札幌駅 40分程度  
※普通列車の場合は60分程度かかります。
    - バス 空港連絡バス(北海道中央バス・北都交通)  
新千歳空港⇄「道庁正門前」(最寄り停留所) 80分程度
- ※時刻表、運賃等は各社ホームページ等でご確認ください。



## 2025 共同求人・社員教育活動全国交流会 参加申込書

フリガナ		フリガナ	希望分科会
企業名	役職	氏名	第 分科会

※お申込は所属の同友会事務局までお願いします。  
※運営の都合上、スケジュールが変更になる場合がございます。予めご了承ください。  
※本登録内容は行事運営のため中間協の管理のもとに参加者名簿等に活用し、それ以外に使用することはありません。

※本行事の様子は撮影・録音し、記載されたものを印刷物やインターネット上で公開させていただきます。ご了承ください。  
参加者の皆さまの写真が掲載されることがありますので、不都合がございましたら所属同友会事務局までご連絡下さい。

申込  
締切

2025年5月29日(木)

※5月30日(金)以降のキャンセルは会費の全額をお支払い頂きます。



発祥の地「北海道」から切り拓く  
共同求人と社員教育の未来

# 2025 共同求人・社員教育活動 全国交流会 in 北海道

2025.  
6/17(火) 13:00開会 | 18(水) 12:15閉会

**メイン会場** 北海道立道民活動センター（かでの2・7）  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目  
道民活動センタービル

**懇親会場** ホテル ポールスター札幌  
〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目

## ！ 交流会の目的と意義

- ◆ 自社のみの発展にとどまらず、地域に根ざす中小企業として企業づくりと地域づくりの観点から学びを深めます。
- ◆ 地域から若者が流出し、中小企業にとって採用が大きな課題となる中、行政や教育機関との連携を深め、地域に若者を残し、地域全体で若者を育てる活動運動を広げるきっかけとします。
- ◆ 『人を生かす経営』の実践のもと、同友会における共同求人・社員教育の理念を深め、採用と教育が一体となる企業づくりを学びます。
- ◆ 共同求人委員会、社員教育委員会の委員同士が交流を深め、全国的な連携の促進を図ります。

主催

中小企業家同友会全国協議会  
〒101-0032 東京都千代田区若本町3-9-13  
若本町寿共同ビル 3F  
TEL:03-5829-9335 / FAX:03-5829-9336  
https://www.doyu.jp/

設営

一般社団法人北海道中小企業家同友会  
〒060-0906 札幌市東区北6条東4丁目1-7  
デ・アウネさっぽろビル 13F  
TEL:011-702-3411 / FAX:011-702-9573  
https://hokkaido.doyu.jp

会費

**20,000円**  
※消費税法基本通達5-5-7に  
該当する共同行事のため、  
課税仕入れにはしないよう  
をお願いします。

# 1日目 / 分科会

## 第1分科会

テーマ 地域の教育と中小企業の関わり(中同協)

### “学び”と“働く”がつながる社会に 中小企業と学校教育の連携が地域と自社の未来をつくる

この数年で教育環境は大きく変化しています。依然、若者の大都市圏への流出はとどまらず、地域経済の人手不足はさらに深刻に。文部科学省が提起した「社会に開かれた教育課程」では、中小企業が地域社会の将来を担う子どもたちの教育に関わることが大きく期待されています。地域の将来、自社の将来を見据え、現代の学校教育から子どもたちの現状を正しく認識し、中小企業家が学校教育に関わる意義を合田氏の報告から深めます。「地域で若者を育て、地域に若者を残す」。地域と自社の未来のために今、学び合ひましょう。



**合田 哲雄 氏**  
文化庁次長  
兵庫教育大学客員教授

■略歴  
倉敷育ち。92年に旧文部省入省。  
福岡県教育庁高校教育課長、NSF(全米科学財団)フェロー、  
文科省初中局教育課程課長・財務課長、内閣府・審議官などを経て現職。  
学習指導要領改訂を二度担当。公立小・中PTA会長を6年。  
単著に『学習指導要領の読み方・活かし方』、  
共著に『学校の未来はここから始まる』、『探究モードへの挑戦』等。

## 第3分科会

テーマ 企業変革と人的資本経営(岡山)

### 自分たちの道は自分たち自身の手で切り拓く！ これまでの50年を受け継ぎ、これからの50年を創造する

浅野氏が5代目として会社を引き継いだのは2017年。以来、新卒採用に切り替えて15人以上の若者を迎えるとともに、同友会を最大限に活用しながら社員教育にも力を注ぎました。しかし最大の変化は、自社株を全てファンドに譲渡し、組織のありかたを根本から変革したことです。その背景には「100年輝業」をめざす同氏の覚悟と社員に対する思いがありました。同族ではなく社員の中から選ばれた経営者だからこそ辿り着いた結論とは？ 浅野氏が考える“人的資本経営”とは？ パトンを托す側と託される側の二人が報告します。



**浅野 浩一 氏**  
(株)サンキョウ-エンビックス  
代表取締役  
岡山同友会 副代表理事・  
社員教育求人委員長



**岡根 誠佳 氏**  
(株)サンキョウ-エンビックス  
経営管理サプリーダー

■会社概要  
設立:1972年  
正社員数:25名  
パート・アルバイト等社員数:10名  
資本金:1,000万円 年商:3億2,000万円  
事業内容:環境に関する問題・課題を解決する  
ためのコンサルティング、サポート、  
調査・分析、環境設備・薬品の販売  
ホームページ:https://sankyo-ltd.co.jp/

## 第2分科会

テーマ 企業風土の醸成(山形)

### 学生との関わりが社員の意識を変える プレインターンシップが若者を受け入れる企業風土をつくる

社員の高齢化で高校の新卒を採用するも、世代間ギャップが大きく1年で退職。求人への応募もない中、社員共育委員会で「採用活動が消極的。社長自らが会社のやりがい・働きがいを伝えるべき」と指摘されて以来、積極的に共同求人活動へ参加します。合同企業説明会で参加企業に学びながら、山形大学の一年生対象の共育型プレインターンシップの受け入れ、地元高校のキャリア教育などに取り組みました。社員も学生に接することで若者を受け入れるようになり、2020年には高校卒業の2名を採用。日々先輩に技術を教わりながら成長しています。



**板垣 一紀 氏**  
(株)板垣水道  
代表取締役  
山形同友会 庄内支部幹事

■会社概要  
設立:1979年  
正社員数:5名  
パート・アルバイト等社員数:1名  
資本金:1,000万円  
年商:1億3,400万円  
事業内容:管工事、土木工事、水道施設工事  
ホームページ:https://kaiteki-koubou.com/

## 第4分科会

テーマ 人を生かす経営の実践・若者に選ばれる企業づくり(北海道)

### 若者に届くわかりやすい共育で働きがいの社風づくりへ 人生の豊かさを実感できる「真の人間尊重経営」をめざして

東京での勤務を経て、北海道の発展に貢献したいと帰郷し、現社を立ち上げました。当初は時代の波に乗り事業を拡大しましたが、私利私欲の経営に陥り淘汰されかけました。その苦境で「人を生かす経営」こそ企業存続の鍵と気づき、労働環境の改善に着手。さらに社員が真の豊かさを実感するには、若い世代にも届く共育の実践が必要と考え、わかりやすい教育指針を基に働きがいのある社風を醸成。逆境を乗り越える全社員一丸の会社をめざしています。



**敬禮 匡 氏**  
(株)レイジックス 代表取締役  
北海道同友会  
常任理事・全道共同求人委員長

■会社概要  
設立:1996年  
正社員数:16名  
パート・アルバイト等社員数:42名  
資本金:2,200万円  
年商:4億8,928万円  
事業内容:海鮮丼を中心とした飲食店「どんぶり茶屋」の運営  
ホームページ:https://www.raisix.co.jp/

# 2日目 / 記念講演 社員教育と共同求人の50年を検証しよう —社会教育運動の原点からこれからのを考える—

共同求人・社員教育活動は、1970年代前半に北海道の地から始まりました。その原点は、若者が来ない、定着しない、育たないという企業の課題から議論を重ね、作り上げたものです。それから約50年、経済情勢、人口流出・減少、働き方、教育環境、若者の価値観などさまざまな変化の中で運動はどのように変わってきたのか。変えてはいけないものは何か。改めて原点を見つめ直し、われわれが取り組むべき企業づくりと地域づくりの要をパネルディスカッションから学び合ひます。



【パネリスト】  
**川中 英章 氏**  
(株)EVENTOS  
代表取締役  
中同協共同求人委員長、  
広島同友会理事

■会社概要  
設立:1988年  
正社員数:35名  
パート・アルバイト等社員数:22名  
資本金:4,000万円 年商:4億8,000万円  
事業内容:各種ケータリングサービス・  
催事の企画運営・飲食店・産直市場  
ホームページ:https://www.eventos.co.jp/



【パネリスト】  
**梶谷 俊介 氏**  
岡山トヨタ自動車(株)  
代表取締役社長  
中同協社員教育委員長、  
岡山同友会常任相談役

■会社概要  
設立:1945年  
正社員数:329名  
パート・アルバイト等社員数:30名  
資本金:1,000万円 年商:180億円  
事業内容:新車販売、各種中古車販売・買取、  
自動車整備・修理、保険代理店他  
ホームページ:https://okayamatoyota.com



【パネリスト】  
**安井 清吉 氏**  
(有)くらしの新聞社  
代表取締役  
北海道同友会常任理事、  
全道共育委員会委員長

■会社概要  
設立:2004年  
正社員数:13名  
パート・アルバイト等社員数:6名  
資本金:300万円 年商:1億9,000万円  
事業内容:地域しんぶんの発行、チラシポスティング、  
マーケティング支援・印刷・企画等  
ホームページ:https://manmaru-sinbun.com/



【コーディネーター】  
**佐藤 全 氏**  
(株)ヴィ・クルー  
代表取締役  
中同協共同求人副委員長

■会社概要  
設立:2006年  
正社員数:35名  
資本金:2,400万円 年商:3億1,000万円  
事業内容:車体整備事業、リサイクル事業、  
企画営業、製品開発  
ホームページ:https://www.vi-crew.co.jp/